

2014年度第2回 エネルギー・温暖化対策小委員会 議事録

日時：2014年11月27日（木）13：30～13：50

場所：（市ヶ谷）九段校舎3階 第1会議室
（多摩）1号館（総合棟）4階 第3会議室C
（小金井）管理棟4階 会議室

出席：（市ヶ谷）施設部 相良課長、岩崎課員、浅川課員
事業室 中村課長
（株）エイチ・ユー 苅米氏、後藤氏
（多摩）多摩事務部 一ノ瀬課長、堀内課員
（株）エイチ・ユー 奥村氏、坂本氏
（小金井）小金井事務部 倉林課長、三宅主任
（株）エイチ・ユー 村山氏

内容：

1. 2014年度後期 エネルギー・温暖化対策小委員会の委員について（資料1）

人事異動等により、1名変更あり。

多摩総務：岡田課長に代わり一ノ瀬課長。

2. 2014年度特定温室効果ガス排出量予実比較について（資料2）

配付資料は、『グリーンキャンパス創造計画書』で目標として定めている、「東京都総量削減義務に準じ、市ヶ谷・多摩キャンパスにおいて温室効果ガス基準排出量の8%削減」について、2014年度の達成状況を月別に示したもの。対上限量比が100%を超えると、8%削減目標が達成できていない状況を示す。

- ①市ヶ谷 上半期合計で96.53%で、順調である。ただし6・8月未達成。平均気温が高かったことと、55・58建替工事により冷房運転を例年より前倒ししたとのが理由と考えられる。
- ②多摩 上半期合計で93.99%で、順調であるが、6月未達成。気象条件によるものと考えられる。
- ③小金井 上半期合計で116.86%となっている。
→（倉林課長）節電を呼びかけており、前年比では削減効果が出ている。
→（村山氏）小金井では実験設備による電力使用の割合が高く、稼働状況が読みづらい。その他の空調や照明等の節電については、他校地に準じて同様に努力している。

(総括)

冬季は気温の上下により空調使用によるエネルギー使用量が大きく変化する。温室効果ガス排出量の削減と経費節減のために、各校地で暖房使用の適正化とウォームビズの励行、不要な照明の消灯、待機電力削減、ブラインドの効果的利用（常時降ろしておく）などを引き続き実施していただきたい。

また、小金井キャンパスについては、目標未達であるものの、前年比では削減努力が認められる。次回委員会で目標達成に向けて取り組んだ点などをご紹介いただきたい。

3. ウォームビズへの取り組みについて（資料3）

今年度も12月～3月を省エネ強化月間と位置づけ、ウォームビズ啓発ポスターを作成した（当会議後 all-jimu 送信予定）。活用いただきたい。

4. その他

- (1) (株) エイチ・ユー多摩の白岩委員について、坂本委員に変更となった。
- (2) 特定温室ガス排出量の対象について、電気だけでなく灯油・重油やガスを含むのかどうかについて質問があった。当該排出量については、それらを全て含むことを説明。

以 上

環境センター	作成者
	